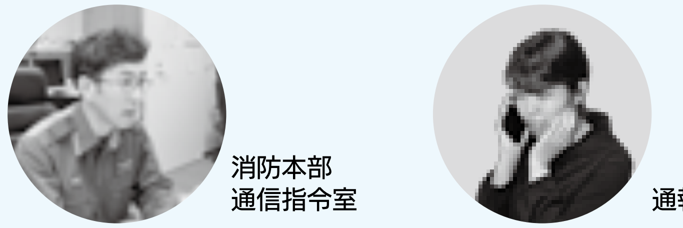
火事が起きたとき、火事を見つけたときは慌てず落ち着いて119



国東市消防本部です。火事ですか？救急ですか？

火事です。

場所を教えてください。近くに何がありますか？

重要情報1

（例）国東町鶴川〇〇番地の××宅です。
（例）国東町の〇〇〇の近くです。

何が燃えていますか？

重要情報2

家が燃えています。

ケガをした人や、逃げ遅れた人はいますか？

〇〇さんと連絡が取れません。

あなたのお名前と電話番号を教えてください。

重要情報3

国東花子です。
番号は090-××××-××××です。

しっかりと正確な情報を

火事が起きたとき、火事を見つけたときは、慌てずに119に電話をしましょう。すぐに市の消防本部につながります。

電話中でも、場所が分かれば、消防車はすぐに火災現場に向かいます。重要情報をしっかりと正確に伝えましょう。

【メールやFAXでも通報できます】

聴覚や言語に障がいのある方でも通報できるよう、メールやFAXを使った通報も受け付けています。詳細は消防本部通信指令係にお問い合わせください（☎72-1177）。

【電話は最後まで切らないで！】

電話を早く切れば、消防車が早く到着するわけではありません。最後まで電話を切らずに、消防本部からの質問に正確に答えてください。

火災現場に向かって消防車出動

火災通報時の"重要3情報" look!

重要情報1 場所の情報

正確な場所の情報によって、消防車の到着が早まります。

■住所が分かる場合

（例）国東町鶴川〇〇番地の××宅です。

■住所が分からない場合

（例）国東町の〇〇公民館、〇〇バス停、〇〇（お店の名前）の近くです、など。

※近くにある公共施設や目印となる建物などを伝えてください。

重要情報2 燃えているものの情報

建物、車、枯れ草など、燃えているものよって消火方法が変わります。素早く適切な消火活動のために、何が燃えているかを伝えてください。

重要情報3 通報者の情報

消防本部から、火災現場の情報を再度聞き直すことがあります。特に携帯電話から通報した場合は、再び電話に出られるよう気に留めておいてください。

住宅防火 いのちを守る10のポイント

［出典：消防庁］

4つの習慣

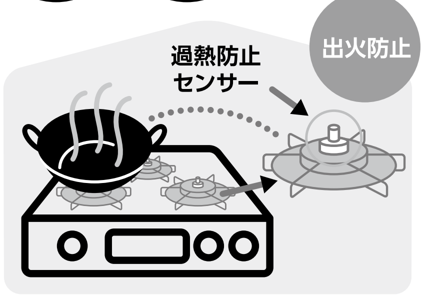
1 **寝たばこ**は絶対にしない、させない

2 **ストーブ**の周りに燃えやすいものを置かない

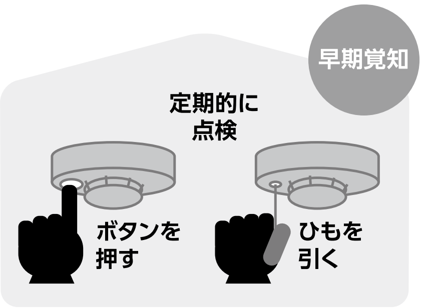
3 **こんろ**を使うときは火のそばを離れない

4 **コンセント**はほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

6つの対策



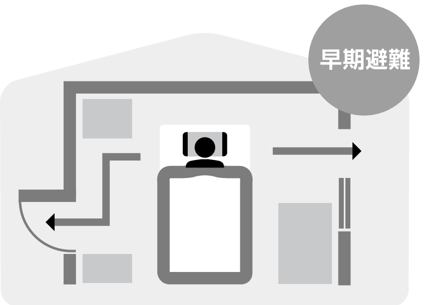
1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は**安全装置**の付いた機器を使用する



2 火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する

3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、**防炎品**を使用する

4 火災を小さいうちに消すために、**消火器等**を設置し、使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、**避難経路と避難方法**を常に確保し、備えておく

6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみの防火対策**を行う

火災による死者の約7割が、**住宅火災**によるものです（消防庁調べ：令和元年中）。
住宅には、火災を知らせる「**住宅用火災警報器**」の設置が消防法で義務化されています。未設置の方は、大切な命を火災から守るため、早めの設置をお願いします。

国東市消防本部
オリジナルキャラクター
住警器マン

【問合先】国東市消防本部　☎72-1101